

取扱説明書 もくじ

はじめに	1
安心してお使いいただくために	5

1章 本製品の準備..... 18

1 使う前に確認する	18
2 各部の名称 -外観図-	19
3 Windows を使えるようにする.....	22
4 電源を切る／入れる.....	33
5 バッテリーについて.....	38

2章 困ったときは..... 46

1 困ったときは -トラブルを解消するまでの流れ-	46
2 Q&A集	47
3 捨てるとき／人に譲るとき.....	52
4 サービス&サポートのご案内.....	58
5 ご使用にあたってのお願い.....	66

詳しい使いかたは、『オンラインマニュアル』で説明しています。

本書では、本製品に用意されている機能の一部を簡単に説明しています。より詳しい説明や、本書で説明していない機能については『オンラインマニュアル』内の『活用編』で説明しています。『オンラインマニュアル』は、次の手順で起動できます。

Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [オンラインマニュアル] をクリックする
[このファイルを開く方法を選んでください。] 画面が表示された場合は、[Microsoft Edge] を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。

Windows 7の場合

- ① デスクトップ画面で [オンラインマニュアル] アイコン () をダブルクリックする

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

お買い求めいただいた製品（本製品）のご使用の前に、必ず各種説明書をお読みください。お子様がお使いになるときは、保護者のかたが各種説明書の内容をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

本製品を安全に正しく使うために重要な事項は、「安心してお使いいただくために」に記載されています。

各種説明書は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っていると便利な内容を示します。
 役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
 参照	参照先を示します。 <ul style="list-style-type: none">● 本書内への参照の場合…「 」● ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『 』

*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

3 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows

Windows 10 ProまたはWindows 7 Professionalを示します。

Windows 10

Windows 10 Proを示します。

Windows 7

Windows 7 Professionalを示します（OSのダウングレードに対応しているモデルのみ）。

Bluetooth[®] 機能搭載モデル

Bluetooth[®] 機能を搭載しているモデルを示します。

4 Trademarks

本マニュアルで使用している各社の登録商標について記述します。

- Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国および／またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Internet Explorer、Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Miracast、WPAは、Wi-Fi Allianceの登録商標あるいは商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスター、ウイルスバスター クラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- デジタルアーツ／DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター／i-フィルターは、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth、Bluetooth ロゴは、Bluetooth SIG, Incの登録商標です。

- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

本マニュアルに掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 お願い

- 本体のSSDにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows 標準のシステムツール以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 本体のSSDにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、次のサポート窓口に連絡してください。
 - ・ Windowsパスワードを忘れたとき： 東芝PCあんしんサポート 使いかた相談窓口
 - ・ その他のパスワードを忘れたとき： 東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口モデルによってはSSDにHDDパスワードを設定できますが、HDDパスワードを忘れてしまった場合は、SSDは永久に使用できなくなりますので、有料にてSSDを交換します。「その他のパスワード」の場合は、有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。またどちらの場合も、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- セキュリティロック・スロットおよび接続するセキュリティケーブルは盗難を抑止するためのものであり、万が一発生した盗難事故の被害について、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター クラウド™」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター クラウド™」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。ウイルスチェックがまったく行われなくなる状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック/セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- SSDや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化/消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。SSDや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝PC保証書』は、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 ▶ お客様登録について『活用編 付録 3 お客様登録の手続き』

- 本書に記載しているURLのホームページを参照する際は、お使いのブラウザのワン ボックス（URL入力欄）にURLを入力して、ホームページを表示してください。

6 本書の記載について

- 本書に記載の操作手順は、本製品にUSB Type-C™ アダプター（付属モデルのみ、または本製品に対応するアダプター）・ディスプレイ・キーボード・マウス（すべて市販品）を接続していることを前提としています。

参照 ▶ 接続方法「1章 3 - 1 - 2 ディスプレイ、キーボード、マウスを接続する」

* ただし、すべてのディスプレイ・キーボード・マウスの動作を保証するものではありません。

- キーボードは、ファンクションキーが搭載されているものを用意してください。
- 本書に記載のキーの刻印（例 **ENTER** キー）は一例です。お使いのキーボードによって、キーの刻印は異なります。

安心してお使いいただくために

ここでは、ご使用の際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。

本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

図記号の例

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘ は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	● は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△ は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などについて、当社はいっさい責任を負いません。
- 本製品の各種説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 記憶装置に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。

- 本製品の保証条件は、付属している当社所定の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

－ 安全上のご注意 －

●バッテリーパックの取り扱いについて

危険

必ず本製品に付属のバッテリーパックを使用する

寿命などで交換する場合は、当社純正品をお買い求めください。当社純正品以外を使用すると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。

バッテリーパックを取り扱うときは次のことを守る

- ・ 指定の充電方法以外にて充電しない
- ・ 分解・改造しない
- ・ 火中に投下しない、火気に近づけない、電子レンジで加熱しない、熱器具に近づけない、高温状態で放置しない
- ・ 落下させる、ぶつける、先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えるといった衝撃を与えない
- ・ 変形、変色、割れ、ヒビ、サビ、液漏れなどの外観の異常、あるいは異臭、発熱などの異常がある場合には使用しない
- ・ 金属をバッテリーパックの金属端子に触れさせない
- ・ 水、コーヒー、ジュースなどの液体でぬらさない



これらを守らないと、発熱・発火・破裂のおそれがあります。液漏れの場合、液が皮膚につくと化学やけどのおそれがあります。もしバッテリーパックに異常がみられるときは使用を中止し、東芝PCあんしんサポートまたは保守サービスに相談してください。

警告

バッテリーパックから漏れた液が目や口に入った場合は、きれいな水で洗浄したあと、ただちに医師に相談する

液が目に入った場合は、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗浄したあと、すぐに医師の治療を受けてください。口に入った場合は、すぐうがいをして医師に相談してください。

皮膚についた場合には、化学やけどを防ぐために、すぐにきれいな水で洗浄してください。衣服についた場合には、体に液が接触しないように、すぐに衣服を脱いでください。



ごみ廃棄場で処分されるごみの中にバッテリーパックを捨てない

リチウムイオン電池は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」により、回収・再資源化が求められています。バッテリーパックの廃棄については、本製品の各種説明書をご覧ください。



⚠ 注意

バッテリーパックは5～35℃の室温で充電する

上記温度範囲内で充電しないと、液漏れ・発熱・性能や寿命が低下するおそれがあります。



指示

バッテリーパックを保管する場合は、できるだけ湿度の低い冷暗所で保管する。また、子供の手の届かない場所に保管する

バッテリーパックを長期保管するときには、過放電を防止するために、半年に1回くらいの割合で、50%程度の充電をしてください。

保管時は、ビニール袋などに入れて端子のショートが起こらないようにし、ダンボールなどの電気を通さない箱に、バッテリーパックが重ならないように入れてください。



指示

●電源コードとACアダプターの取り扱いについて

⚠ 警告

もし、異常な音や異常なおいがしたり、過熱、発煙、変形したときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く安全を確認してからバッテリーパックを取りはずす

そのまま使用すると、火災・やけど・感電のおそれがあります。点検・修理を、東芝PCあんしんサポートまたは保守サービスに依頼してください。



電源プラグを
コンセントから抜け

もし、本体やACアダプターなどを落としたり、強い衝撃を与えたときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

安全を確認してからバッテリーパックを取りはずす

そのまま使用すると、火災・感電・故障のおそれがあります。点検・修理を、東芝PCあんしんサポートまたは保守サービスに依頼してください。



電源プラグを
コンセントから抜け

通電中の本体やACアダプターにふとんをかけない。また、じゅうたんなどのように熱の逃げないものの上で使用したり、布などでくるんだりしない

内部の温度が上がり、火災・やけど・故障のおそれがあります。



禁止

ACアダプターは本製品に付属のものを使用する

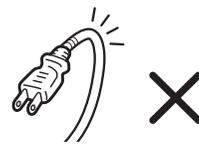
本製品付属以外のACアダプターを使用すると、火災・破裂・発煙のおそれがあります。



電源コードを取り扱うときは次のことを守る

- ・強く引っばったり、折り曲げない
- ・結んだ状態で使用しない
- ・折れ曲がったりねじれた状態で使用しない
- ・加工したり傷つけたりしない
- ・膨らんでいたり、傷ついた電源コードは使用しない
- ・重いものを載せない
- ・ドアなどにはさまない
- ・加熱したり、熱器具に近づけたりしない
- ・水、湿気のかかる場所で使用しない
- ・束ねたままで使用しない
- ・ACアダプターなどに巻き付けない

これらを守らないと、火災・やけど・感電のおそれがあります。もし、電源コードが傷ついたときは、使用を中止し、東芝PCあんしんサポートまたは保守サービスに相談してください。



電源プラグは、AC100Vコンセントの奥まで確実に差し込む

確実に差し込んでいないと、火災・感電のおそれがあります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてから乾いた布などで清掃する

そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。長時間使用しないときはコンセントから抜き、ほこりが付着しないように保管してください。



海外でご使用の場合は、各国／地域の法令または安全規格に適合した電源コードを使用する

それ以外の電源コードを使用すると、火災・感電のおそれがあります。海外で使用する場合は、各国／地域の法令または安全規格に適合した電源コードをご使用ください。



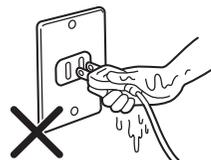
電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源プラグを持って抜いてください。電源コードが破損し、火災・感電のおそれがあります。



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない

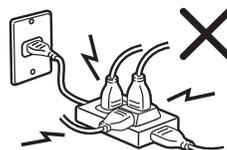
感電のおそれがあります。



禁止

タコ足配線をしない

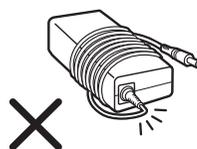
電源コードをタコ足配線にするとコンセントが過熱し、火災・感電のおそれがあります。



禁止

ACアダプターを取り扱うときは次のことを守る

- ・ ACアダプターに電源コードやケーブルを巻き付けない
- ・ 電源コードやケーブルを巻き付けたまま使用しない
- ・ ACアダプターの根元に無理な力を加えない
- ・ 無理に折り曲げない
- ・ 持ち運び時には指定以外の方法でコードを束ねない
- ・ ケーブルが膨らんでいたり、傷ついている場合は使用しない
- ・ ケーブルに輪ができた状態や、ねじれた状態では使用しない



指示

これらを守らないと、火災・やけど・感電のおそれがあります。もし、ACアダプターが傷ついたときは、使用を中止し、東芝PCあんしんサポートまたは保守サービスに相談してください。

* プラグの形状はモデルによって異なります。

⚠ 注意

本体を移動する場合は、ACアダプターを本体から取りはずす

本体のコネクタ部分に無理な力が加わり、火災・感電・破損のおそれがあります。



指示

お手入れの前には、本製品や本製品の周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

電源を切らずにお手入れをはじめると、感電のおそれがあります。



指示

電源コネクタを取り扱うときは次のことを守る

- ・ 本体の電源コネクタにACアダプターのプラグを確実に差し込む
- ・ 本体の電源コネクタ部には強い力を加えない



指示

これらを守らないと、やけど・発煙のおそれがあります。

* プラグの形状はモデルによって異なります。

付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない



指示

付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

●本体と周辺機器の取り扱いについて

警告

お客様ご自身で、分解・改造・修理しない

火災・感電・故障・けがのおそれがあります。点検・修理は、東芝PCあんしんサポートまたは保守サービスに依頼してください。



分解禁止

雷が鳴り出したら本体やケーブル類には触れない

落雷による感電のおそれがあります。

雷の発生が予想されるときには本体からケーブル類（電源コード、ACアダプター、USBケーブルなど）をはずしてください。



禁止

ビニール袋などの包装材料は乳幼児の手の届かないところに保管する

口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。



指示

取りはずした小さな部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万が一飲み込んだ場合はただちに取り出す必要がありますので、すぐに医師に連絡し指示を受けてください。



指示

可燃性ガスエアゾールやスプレーを本体に使用しない

清掃や可動部の潤滑用など、可燃性のエアゾールやスプレーを本体に使用すると、噴射される可燃性ガスが本体の内部にとどまり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火し、爆発・火災・やけど・故障のおそれがあります。



禁止

⚠ 注意

本体の上または近くに「花びん・コップ」などの液体の入った容器や、「ステーブル・クリップ」などの金属物を置かない

異物（金属片・液体など）が本体の内部に入ると火災・感電のおそれがあります。異物が内部に入った場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。点検・修理を、東芝PCあんしんサポートまたは保守サービスに依頼してください。



禁止

ふる場、シャワーなどの水がかかったり、湿度の高い場所あるいは屋外などの雨や霧が入り込む場所では使用しない

火災・感電のおそれがあります。



禁止

水などの液体で洗浄したり、水中で使用しない

本体を水で濡らさないでください。感電や故障の原因となるおそれがあります。



禁止

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かない
落ちたり、たおれたりしてけがをするおそれがあります。



禁止

ヘッドセット／ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量を長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。



禁止

周辺機器を接続したり、取りはずしたりする場合は、各種説明書に記述されてあるところ以外は開けない

火災・やけど・感電のおそれがあります。



禁止

マウス底面の光学式センサーの赤色などの光、レーザーマウス底面のレーザー照射部は直接見ない

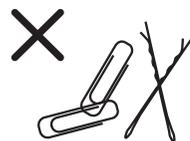
目を痛めるおそれがあります。



禁止

コネクタに金属製品を接触させない

金属製のヘアピンやクリップなどがUSB コネクタなどに触れると本体や金属製品が発熱し、やけど・故障のおそれがあります。特に、本体をキャリングバッグなどに入れて持ち運ぶときには、金属製品と接触させないようにしてください。



禁止

通風孔をふさがない

カーペット、ソファ、ベッドなどの柔らかいものの上に置いたり、ポケットなどに入れて使用した場合、通風孔をふさいでしまいます。本体が発熱して、火災・やけど・故障のおそれがあります。
通風孔はふさがないように使用してください。



禁止

本製品の表面に長時間触れない

本製品の表面は熱くなることがあります。
長時間触れていると低温やけどのおそれがあります。
肌の弱い方は、特にご注意ください。



禁止

通風孔に手を近づけない

本体の動作中、通風孔から熱い排気が出ます。やけどのおそれがあります。



禁止

●無線通信の取り扱いについて

警告

満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着したかたがいる可能性がある場所では、本体の電源を切る
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



指示

心臓ペースメーカーを装着しているかたは、無線通信機能（無線LAN、Bluetooth®、ワイヤレスWAN）が搭載されている製品を使用する場合、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



指示

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは本体の電源を切る、また、医療用電気機器を近づけない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。



指示

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは本体の電源を切る
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。



指示

電子機器の使用が制限されている場所では本体の電源を切る
本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、本体の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えるおそれがあります。
詳しくは、各航空会社や病院などの指示に従ってください。



指示

本体を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は本体の電源を切る

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。



指示

— ご使用上のお願い —

●本体と周辺機器の取り扱いについて

本体と周辺機器を取り扱うときは次のことを守る

- ・ 直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。
- ・ 極端に低温になるところに置かないでください。
- ・ スピーカー、テレビなど磁気を発するものの近くで使用しないでください。
- ・ 表面を硬いものでこすらないでください。
- ・ 製品の上にものを乗せたり、ものを落としたりしないでください。
- ・ ほこりの多いところに置かないでください。
- ・ 急激な温度変化を与えないでください。
- ・ 機器に強い衝撃や外圧を与えないでください。
- ・ スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いもので操作したりしないでください。
- ・ メディアカード^{*1}は使用後熱くなっている場合があります。取りはずす際、カードが熱くなっている場合は少し時間をおき、カードが冷めてから取りはずしてください。時間をおいても温度が下がらない場合は、本体の電源を切り、冷めるのを待って取りはずしてください。
- ・ 本体を持ち運ぶ場合は、本体に接続されているケーブルをすべてはずし、電源を切ってください。
- ・ アプリケーションソフトの動作中に電源を切らないでください。
- ・ メディアカード^{*1}やUSB対応機器などを挿入した状態で、本体をキャリングバッグなどの中に入れてしないでください。

これらを守らないと、故障・破損・誤動作・機能低下・記憶内容の消失などのおそれがあります。本体や周辺機器に異常が見られたときは使用を中止し、東芝PCあんしんサポートまたは保守サービスに相談してください。

当社純正品以外の周辺機器やアプリケーションソフトを使用する場合は、本製品で使用可能かどうかを、取り扱い元に確認してください。

当社純正品以外の周辺機器やアプリケーションソフトが原因で発生した損害（お客様へのけが、財産への損害および本体の故障によるデータの消失など）については、当社では責任を負いません。あらかじめご承知ください。

コンピューターウイルスによる被害を防ぐため、最新のコンピューターウイルスチェックプログラムを使用して定期的にチェックしてください。

お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

変質・変形・変色のおそれがあります。

●バッテリーパックの取り扱いについて

バッテリー駆動時間が短くなった場合や警告メッセージが表示された場合には、新しいバッテリーパックと交換してください。

バッテリーパックは消耗品です。バッテリーパックの充電性能が低下した状態でそのまま使用し続けると、急に電源が切れることがあり、データの書き込み・読み込みの失敗、記憶内容の消失・故障などのおそれがあります。

手順に従い純正の新しいバッテリーパックに交換してください。

●電源コードとACアダプターの取り扱いについて

通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。

本体を持ち運ぶときは、電源コードを抜き、温度が下がったことを確認してください。

温度の影響を受けやすい木製品・家具などの上に置くと、あとがつくことがあります。

●無線通信の取り扱いについて

電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮蔽された部屋などでは、使用しないでください。

設置環境により、電波が届かない場合があります。

●ソリッドステートドライブ (SSD) およびメディアカード^{※1}の取り扱いとデータ保護について

SSDおよびメディアカードを取り扱うときは次のことを守る

- ・ SSDおよびメディアカードへ書き込み・読み出し中は電源を切ったり、メディアカードを取りはずし／取り出したりしないでください。
- ・ 新しいオプションの取り付けやアプリケーションのインストールをする前に、現在作成中のデータは、SSDやメディアカードに保存してください。
- ・ 一度使用したSSDおよびメディアカードをフォーマットする場合は保存されている内容を確認してください。
- ・ SSDおよびメディアカードに保存しているデータは、万が一故障が起きたり、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップをとって保存してください。
- ・ メディアカードは消耗品です。大切なデータはコピーしておくことをおすすめします。
- ・ メディアカードに貼るラベルは、正しい位置からはみ出したり、重ね貼りしないでください。
- ・ メディアカードを、水がかかったり、湿気やほこりの多い場所、高温・低温になる場所で保管しないでください。

これらを守らないと、データの書き込み・読み出しの失敗、記憶内容の消失などのおそれがあります。SSDおよびメディアカードに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

※1 メディアカードとは、microSDメモ리카ードなどを示します。

用途制限について

●本製品は人の生命に直接かかわる装置等^(※1)を含むシステムに使用できるよう開発・製作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

※1：人の生命に直接かかわる装置等とは、次のようなものをいいます。

- ・生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
- ・有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
- ・消防法、建築基準法など各種法律を遵守して設置しなければならない装置 など

●本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム^(※2)に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮^(※3)が必要となるので、当社営業窓口にご相談してください。

※2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、次のようなものをいいます。

(原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム)

(集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム)

※3：特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フル・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することをいいます。

連続運転について

本製品は24時間を超えるような長時間の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内でも部品交換（有料）が必要となります。

結露について

結露（空気中の水分が水滴になる現象）しないよう急激な温度変化を与えないでください。

寒いところから暖かいところに本製品を移動したときなどは、本製品の表面や内部に結露が発生しやすくなります。

結露が発生したまま本製品を使用すると故障の原因となりますので、結露がなくなるまで電源を入れしないでください。

－ 使用環境について －

本製品を正しい使用環境でお使いいただければ、本製品の寿命を少しでも長くすることができます。

安全と健康を守り、本製品をより快適にお使いいただく環境について説明します。

本製品の使用環境について

- 温度は5～35℃、湿度は20～80%の環境にする
- 急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
- 暖房機具などの熱いものの近くには置かない
- 使用中のホットカーペットの上に置かない
- 腐食性の薬品のそばに置かない
- 無線通信装置から離す
携帯電話も無線通信装置の一種です。

健康のために気をつけたいこと

- 長時間使用して、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用をやめて休息する
休息しても不快感や痛みが取れない場合は、医師の診察を受けてください。

1 使う前に確認する

1章

本製品の準備

1 箱を開けたらまずはこれから

■ 箱の中身の確認

『****をお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照▶ 東芝PCあんしんサポートについて「2章 **4** サービス&サポートのご案内」

■ 型番と製造番号を確認

型番と製造番号は本体に記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。番号が違う場合や、不備があった場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照▶ 記載位置について「本章 **2** 各部の名称」

2 忘れずに行ってください

■ はじめに

ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書とWindowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。

■ 保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は当社の無料修理サービスが受けられます。

保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

■ 海外保証を受けるには

* 海外保証対象モデルのみ

海外で使用するときには「海外保証（制限付）」（ILW:International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・注意事項の範囲内で修理サービスを利用できます。

利用方法、保証の詳細は、「2章 **4** サービス&サポートのご案内」の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

2

各部の名称 - 外観図 -

1章

本製品の準備

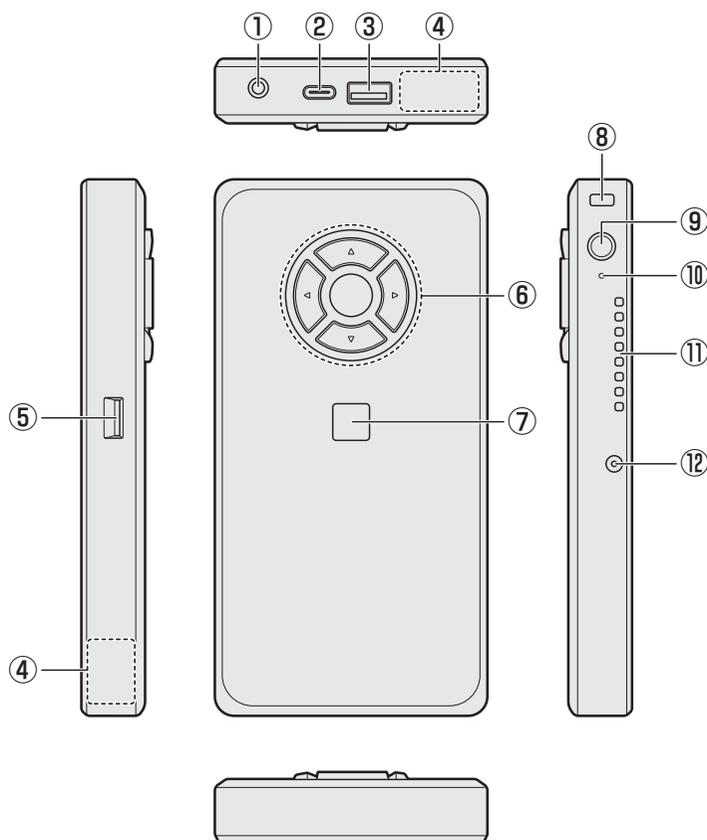
⚠ 注意

- 本製品を持って振り回さない
ご使用の際には、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
ほかの人にぶついたりして、けがをさせるおそれがあります。

お願い 外観図について

- 最大構成（モデルによっては選択できない構成があります）を想定しています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。

1 前面図／側面図

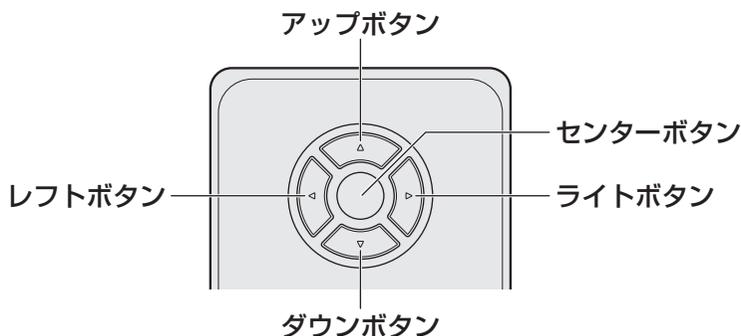


- ①  **マイク入力/ヘッドホン出力端子**
マイクやヘッドホンを接続します。
マイク入力時はモノラル音声となります。
- ②  **USB Type-C™ コネクタ**
USB 対応機器を接続するときに使用します。
USB3.1 Gen1 に対応します。
- ③  **USB コネクタ**
USB 対応機器を接続します。
USB3.0 規格に対応しています。
- ④ この部分に無線通信用のアンテナが内蔵されています。
- ⑤  **SD カードスロット**
microSD メモリカードをセットします。
- ⑥ **アップボタン、ダウンボタン、レフトボタン、ライトボタン、センターボタン**
- ⑦ **指紋センサー**
*指紋センサー搭載モデルのみ
- ⑧  **セキュリティロック・スロット**
- ⑨  **電源スイッチ、Power LED**
電源スイッチの周りの輪が Power LED です。Power LED は電源の状態を示します。
- ⑩ **DC IN/Battery LED**
電源コードと AC アダプターの接続状態やバッテリーの状態を示します。
- ⑪ **通風口**
空気を通します。ふさがないでください。
- ⑫  **電源コネクタ**

1 ボタンについて

アップボタン、ダウンボタン、レフトボタン、ライトボタンを押すごとに、カーソルが、ボタンの矢印と同じ方向に動きます。

カーソルが選択している項目を実行する場合は、センターボタンを押します。

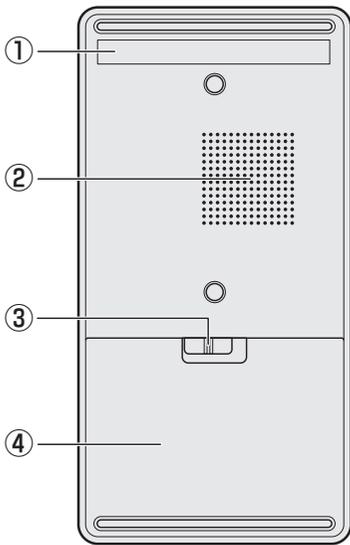


また、ボタンと押しかたの組み合わせにより、次のような操作が実行できます。

ボタン	内容
アップボタンとダウンボタンを同時に約5秒押す	ボタンをロックします。 ロックを解除するには、再度アップボタンとダウンボタンを同時に約5秒押してください。
センターボタンを約2秒押す	キーボードの [ESC] キーと同じ操作（操作の取り消しなど）を実行できます。

*すべてのアプリケーションでの動作を保証するものではありません。

2 背面図



① 型番と製造番号

型番（機種名）と製造番号が記載されています。

② 通風孔

空気を通します。ふさがないようにください。

③  バッテリー安全ロック

バッテリーパックが本製品からはずれないようにするためのスイッチです。

④ バッテリーパック

お願い

■ 本製品のメモリについて

- メモリの交換・増設はできません。

■ 外観について

- 通風孔は、本製品内部の熱を外部に逃がすためのものです。

通風孔を通して外の空気を取り込んだり、内部の空気を排出したりすることで本製品内部に熱がこもるのを防いでいます。

通風孔をふさがないようにください。

通風孔の表面上のほこりは、やわらかい布でふき取ってください。通風孔の内部にほこりが入ったときは、東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口にて点検を依頼してください。この場合、有料となります。

- 本製品には、正規のWindowsであることを証明する、「Windows」というMicrosoftのラベルが貼ってあります。はがしたり汚したりしないでください。

* Windows 10 ProまたはWindows 7 Professionalの場合のみ

■ 機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 「2章 5 - 1 - 機器への強い衝撃や外圧について」

1 Windows セットアップ

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。
Windowsのセットアップは、本製品をできるようにするために必要な操作です。
作業を始める前に、「安心してお使いいただくために」を必ず読んでください。特に電源コード
やACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

お願い セットアップをするときの注意

■ 周辺機器は接続しないでください

- セットアップを開始する前に、セットアップに不要なものが接続されていないことを確認してください。

セットアップに不要なものが接続されている場合は、本製品の電源を切った状態であらかじめ取りはずしてください。

参照▶ セットアップに必要なものについて

「本項 2 ディスプレイ、キーボード、マウスを接続する」

セットアップが完了するまでは、その他の周辺機器は接続しないでください。

■ 途中で電源を切らないでください

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ 操作は時間をあけないでください

- セットアップ中にキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。

しばらく入力装置（マウスやキーボードなど）を操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。

もう一度表示するには、**[SHIFT]**キーを押すか、マウスなどを動かしてください。

キーやマウスなどでは復帰せず、Power  LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

1 電源コードとACアダプターを接続する

警告

- ACアダプターは本製品に付属のものを使用する
本製品付属以外のACアダプターを使用すると電圧や（+）（-）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
また、付属のACアダプターを他の製品に使用しないでください。
- 本製品にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する
順番を守らないと、電源コードのプラグが帯電し、感電またはけがをすることがあります。
また、電源コードのプラグを本製品の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

注意

- 付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない
付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

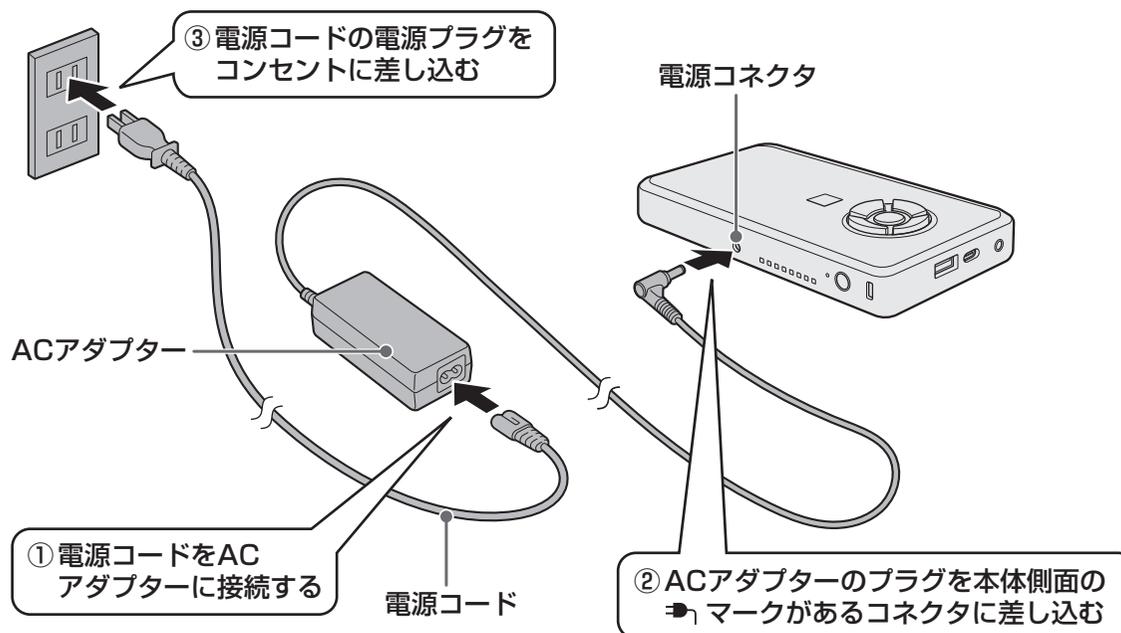
お願い 電源コードの取り扱いについて

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 「2章 5 - 2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて」

次の図の①→②→③の順で行ってください。

初めて電源を入れるときには、電源コードとACアダプターを接続してください。



接続すると

DC IN/Battery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。DC IN/Battery LEDが白色に点灯したら、充電完了です。

参照 DC IN/Battery LED「本章 5 - 1 - 1 DC IN/Battery LEDで確認する」

メモ

- バッテリー充電中でも本製品を使用することができます。

2 ディスプレイ、キーボード、マウスを接続する

電源コードとACアダプターを接続後、本製品にディスプレイ、キーボード、マウスを接続します。準備するものは、次のとおりです。

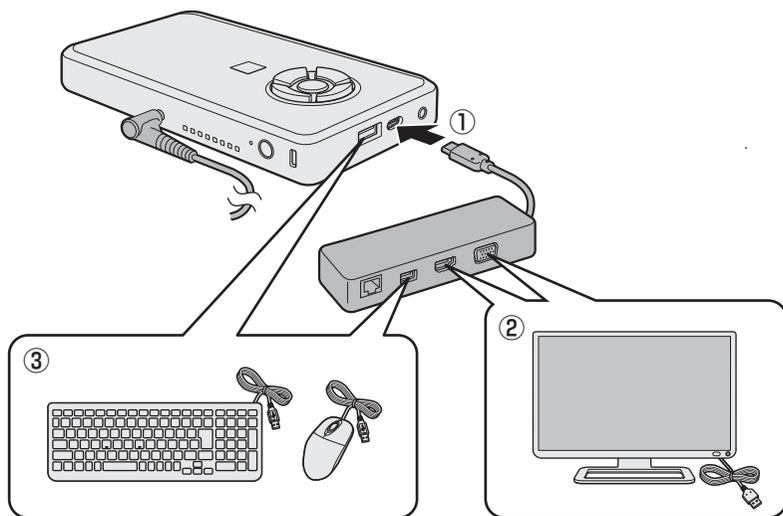
- ディスプレイ（HDMI[®]ケーブルまたはRGBケーブル付属のもの）、キーボード、マウス（すべて市販品）
- USB Type-C[™] アダプター（付属モデルのみ、または本製品に対応するアダプター）

お願い 外部ディスプレイ接続の操作にあたって

- すべての外部ディスプレイへの表示を保証するものではありません。
外部ディスプレイによっては正しく表示されない場合があります。

接続手順

- ① USB Type-C[™] アダプターのプラグを、本製品のUSB Type-C[™] コネクタに差し込む
- ② ディスプレイのケーブルのプラグを、USB Type-C[™] アダプターのHDMI[®] コネクタまたはRGBコネクタに差し込む
- ③ キーボードとマウスを、本製品またはUSB Type-C[™] アダプターのUSBコネクタに差し込む



*本製品にディスプレイ、キーボード、マウスを接続するときは、ケーブルは束ねずに使用してください。

3 電源を入れる

1 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押ししてください。Power LEDが白色に点灯することを確認してください。



これで本製品の準備は完了です。続いてWindowsのセットアップに進みます。

4 Windowsのセットアップ

Windows 10の操作手順

* 本マニュアルを「オンラインマニュアル」でご覧の場合は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

セットアップには約10～20分かかります。

本製品にキーボード、マウスを接続した状態でも、[先に進むには、キーボードを接続する必要があります] 画面が表示される場合があります。

しばらく待つと、画面右下に[スキップ]または[次へ]が表示されますので、[スキップ]または[次へ]をクリックしてください。

[お住まいの地域はこちらでよろしいですか?] 画面が表示されます。

1 [日本] が選択されているのを確認し、[はい] をクリックする

[キーボードレイアウトはこちらでよろしいですか?] 画面が表示されます。

2 [Microsoft IME] が表示されているのを確認し、[はい] をクリックする

[2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか?] 画面が表示されます。

3 2つ目のキーボードレイアウトの追加設定を省略するので、[スキップ] をクリックする

2つ目のキーボードレイアウト(別の言語)の追加は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

[ネットワークに接続しましょう] 画面が表示されます。

4 ネットワークの設定を省略するので、[今はスキップ] をクリックする

LAN機能を使ったインターネットへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

[ライセンス契約をお読みください] 画面が表示されます。

5 ライセンス契約の内容を最後まで確認し、[同意] をクリックする

[このPCを使うのはだれですか?] 画面が表示されます。

6 名前を入力し、[次へ] をクリックする

本製品がユーザーを識別するための名前です。必ず入力してください。

ここで入力する名前は、管理者として識別されます。管理者は、ネットワークや本製品を管理する権限があります。

管理者以外のユーザーは、Windowsのセットアップ後に登録できます。

[名前] と書いてある欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。**名前は、半角英数字で入力してください。**

「|」(カーソル) が表示されている位置から文字の入力ができます。

同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

[toshiba] と入力するときは、キーボードで **T O S H I B A** と押します。

■ キーを押しても表示されないときは

キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」(カーソル) が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、入力欄をクリックしてください。

■ 入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する **BACKSPACE** キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する **DEL** キーを押す

カーソルを左右に動かすには、**←** キーまたは **→** キーを押します。

■ 名前に使えない文字列

名前を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

[確実に覚えやすいパスワードを作成します] 画面が表示されます。

7 パスワードを入力し、[次へ] をクリックする

お願い

- パスワードを忘れると、Windows を起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をしなければなりません。その場合、購入後に本製品に保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

ここでは、Windows を起動するときに入力しないと、Windows を起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windows パスワード」と呼びます。

[パスワード] と書いてある欄に、Windows パスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windows パスワードは半角英数字で 127 文字まで設定できます。8 文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。

Windows パスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力を間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

[パスワードの確認] 画面が表示されます。

8 パスワードをもう一度入力し、[次へ] をクリックする

[パスワードの確認入力] と書いてある欄に、手順 **7** で入力した Windows パスワードを、もう一度入力してください。

[パスワード ヒントの追加] 画面が表示されます。

9 パスワードのヒントを入力し、[次へ] をクリックする

設定した Windows パスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておく、パスワード入力画面で表示させることができます。

[パスワードのヒント] と書いてある欄に、自分だけがパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

[速く安全にサインインするために指紋認証を使用します] 画面、[速く安全にサインインするために顔認証を使用します] 画面、または [速く安全にサインインするために Windows Hello を設定します] 画面が表示された場合は、[今はスキップ] をクリックしてください。[Cortana をパーソナルアシスタントして指定しますか?] 画面が表示されます。

10 ユーザー情報の使用に関する内容を確認し、[はい] または [いいえ] をクリックする

[デバイスのプライバシー設定の選択] 画面が表示されます。

11 プライバシーの設定を確認し、[同意] をクリックする

最初に表示された内容が、Microsoftがおすすめする設定です。確認し、変更したい項目があれば変更してください。セットアップ完了後にも変更することができます。

12 しばらくお待ちください

そのまま電源を切らずにお待ちください。Windowsの画面が表示されます。

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、**[ENTER]** キーを押してください。次の画面に進みます。

パスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力し、**[ENTER]** キーを押してください。

メモ

- しばらくマウスやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。もう一度表示するには、**[SHIFT]** キーを押すか、マウスを動かしてください。**[SHIFT]** キーやマウスでは復帰せず、Power  LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

お願い

- 本製品の使いかたの詳細は『オンラインマニュアル』をご覧ください。
- **リカバリーメディアを作成しましょう**
本製品にトラブルが発生したときに備えて、あらかじめ、リカバリーメディアを作成しておくことをおすすめします。
参照▶ リカバリーメディアの作りかた『活用編 1 章 使いはじめる前に』
- **定期的にバックアップをとりましょう**
ファイルを誤って削除してしまったり、突然のトラブルによってファイルが使えなくなってしまうことがあります。
定期的にバックアップをとることをおすすめします。

Windows 7 の操作手順

* 本マニュアルを「オンラインマニュアル」でご覧の場合は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

セットアップには約 10～20 分かかります。

1 【国または地域】欄に「日本」と表示されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックする

ユーザー名とコンピューター名を入力する画面が表示されます。

2 ユーザー名を入力する

ユーザー名は、Windows を使用しているユーザーをコンピューター側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。

管理者ユーザーとは、ネットワークやコンピューターを管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで 1 台のコンピューターを使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windows のセットアップ後に登録できます。

[ユーザー名を入力してください] と書いてある下の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。

ユーザー名は、半角英数字で入力してください。

「toshiba」と入力するときは、キーボードで **T O S H I B A** と押します。

■ ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

■ キーを押しても表示されないときは

キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、入力欄をクリックしてください。

■ 入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する **BACKSPACE** キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する **DEL** キーを押す

カーソルを左右に動かすには、**←** キーまたは **→** キーを押します。

3 コンピューター名を入力する

コンピューターに名前をつけるのは、使用するコンピューターをほかのコンピューターと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。[コンピューター名を入力してください] と書いてある下の欄に、半角英数字で任意の文字列を入力してください。

半角英数字以外は使用しないでください。また、同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

4 [次へ] ボタンをクリックする

[ユーザーアカウントのパスワードを設定します] 画面が表示されます。

5 パスワードを入力する

お願い

- パスワードを忘れると、Windows を起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後に本製品に保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

[パスワードを入力してください] と書いてある下の欄に、Windows ログオンパスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windows ログオンパスワードは半角英数字で127文字まで設定できます。8文字以上で設定することをおすすめします。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。Windows ログオンパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

6 パスワードをもう一度入力する

[パスワードをもう一度入力してください] と書いてある下の欄に、手順 **5** で入力したWindows ログオンパスワードを、もう一度入力してください。

7 パスワードのヒントを入力する

設定したWindows ログオンパスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておく、パスワード入力画面で表示させることができます。

[パスワードのヒントの入力] または [パスワードのヒントを入力してください] と書いてある下の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

8 [次へ] ボタンをクリックする

[ライセンス条項をお読みになってください] 画面が表示されます。

9 ライセンス条項の内容を最後まで確認し、[ライセンス条項に同意します] の左にある□ (2か所) をクリックする

ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windows やコンピューターを使用することはできません。

表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある ▼ ボタンをクリックします。

10 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピューターの保護とWindowsの機能の向上が自動的に行われるように設定してください] 画面が表示されます。

11 [推奨設定を使用します] をクリックする

[日付と時刻の設定を確認します] 画面が表示されます。

12 日付と時刻を確認する

コンピューターの内蔵時計の日付と時刻が合っているかどうか確認し、合っていない場合は、正しい内容に設定してください。

[タイムゾーン] は、欄の右にある ▼ をクリックして、表示された地名から「大阪、札幌、東京」をクリックしてください。

年・月の左右にある ◀ または ▶ をクリックすると、月ごとに順に表示が切り替わります。

年・月を合わせてから、該当する日をクリックしてください。

時刻表示の右にある ▲ または ▼ をクリックすると、順に数字が切り替わります。

変更したい時/分/秒をクリックしてから ▲ または ▼ をクリックしてください。

お願い

- 日付と時刻が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限のあるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、この時点で、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。
- 日付と時刻はWindowsセットアップ終了後に設定することもできます。

参照 ▶ 日付と時刻の設定『Windowsヘルプとサポート』

13 [次へ] ボタンをクリックする

[ワイヤレスネットワークへの接続] 画面が表示された場合は、手順 **14** に進んでください。

[Windows で設定の最終処理を実行しています] 画面が表示された場合は、手順 **15** に進んでください。

14 無線 LAN の設定を省略するので、[スキップ] ボタンをクリックする

無線 LAN 機能を使ったネットワークへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

15 ユーザーの設定が準備される

Windows セットアップが終了すると、コンピューター内にユーザーの設定が用意されます。

モデルによっては、作業を完了するためにシステムが再起動します。
しばらくお待ちください。

パスワード入力画面が表示された場合は、Windows ログオンパスワードを入力し、**ENTER** キーを押してください。

Windows が起動します。

メモ

- しばらくマウスやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。もう一度表示するには、**SHIFT** キーを押すか、マウスを動かしてください。
SHIFT キーやマウスでは復帰せず、Power  LED が点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。
- 本製品を起動するとき流れる Windows の起動音がまれに途切れる場合がありますが、故障ではありません。

お願い

- 本製品の使いかたの詳細は『オンラインマニュアル』をご覧ください。
- **リカバリーメディアを作成しましょう**
本製品にトラブルが発生したときに備えて、あらかじめ、リカバリーメディアを作成しておくことをおすすめします。
参照▶ リカバリーメディアの作りかた『活用編 1 章 使いはじめる前に』
- **定期的にバックアップをとりましょう**
ファイルを誤って削除してしまったり、突然のトラブルによってファイルが使えなくなってしまうことがあります。
定期的にバックアップをとることをおすすめします。

1 電源を切る

本製品を使い終わったとき、電源を切る「シャットダウン」を行ってください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失ったりするおそれがあります。中断するときは、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する「スリープ」があります。

参照 ▶ スリープについて『活用編 2章 1 電源を入れる／切る』

警告

● 電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る

本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。そのまま本製品の使用が制限されている場所では電源を入れないでください。

- ・ 無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。

Windows 10の場合：

① 通知領域の  アイコンをクリックする

② [機内モード] をクリックして、ONに切り替える

ONになると、通知領域に  アイコンが表示されます。

Windows 7の場合：

① [スタート] () ボタン → [コントロールパネル] をクリックする

② [ハードウェアとサウンド] → [Windows モビリティ センター] をクリックする

③ [ワイヤレスをオフにする] をクリックする

- ・ スリープや休止状態では、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
- ・ 電源を切った状態でも、本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- SSDやメディアへのアクセス中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。
- 記録メディア保護のために、記録メディアを取りはずしてください。

Windows 10で電源を切るには

1章

本製品の準備

- 1 本製品に、USB Type-C™ アダプター、ディスプレイ、キーボード、マウスが接続されていることを確認する
- 2 [スタート] ボタン () をクリックする
- 3 [電源] () → [シャットダウン] をクリックする



(表示例)

Windows を終了したあと、本製品の電源が自動的に切れます。
本製品の電源が切れると、Power  LED が消灯します。

メモ

- [スタート] ボタン () を右クリックして、表示されるメニューから [シャットダウン] または [サインアウト] → [シャットダウン] をクリックしても、電源を切ることができます。
- システムが操作できなくなり、電源を切ることができない場合は、電源スイッチを5秒以上押し続けると、強制的に電源を切る (強制終了) ことができます。

強制終了は、システムが操作できなくなったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になり、保存していないデータは消失します。

お願い 電源を切るときは

- 本製品に接続している機器 (周辺機器) の電源は、本製品の電源を切ったあとに切ってください。
- 本製品や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。
- 周辺機器の取り付け／取りはずし、BIOS セットアップの設定などを行うときは、**[SHIFT]** キーを押しながら、メニューから [シャットダウン] をクリックしてください。

Windows 7で電源を切るには

1 本製品に、USB Type-C™ アダプター、ディスプレイ、キーボード、マウスが接続されていることを確認する

2 [スタート] ボタン () をクリックする



3 [シャットダウン] をクリックする



Windows を終了したあと、本製品の電源が自動的に切れます。
本製品の電源が切れると、Power  LED が消灯します。

メモ

- システムが操作できなくなり、電源を切ることができない場合は、電源スイッチを5秒以上押し、強制的に電源を切る（強制終了）ことができます。
強制終了は、システムが操作できなくなったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になり、保存していないデータは消失します。

お願い 電源を切るときは

- 本製品に接続している機器（周辺機器）の電源は、本製品の電源を切ったあとに切ってください。
- 本製品や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

2 電源を入れる

1 章

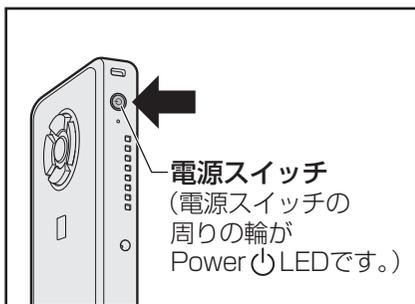
本製品の準備

お願い 電源を入れる前に

- プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、本製品より先に周辺機器の電源を入れてください。

1 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押ししてください。Power  LEDが白色に点灯することを確認してください。



■ ロック画面が表示された場合

* Windows 10のみ

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、**ENTER** キーを押してください。次の画面に進みます。

■ 各種認証を設定している場合

次のいずれかの設定を行っている場合は、認証画面が表示されます。

- ・ パスワードの場合：パスワードを入力し、**ENTER** キーを押してください。
- ・ PINの場合：PINを入力してください。
- ・ 指紋認証の場合：指紋センサーに指を当て、離してください。

■ 複数のユーザーで本製品を使用している場合

表示されているユーザーとは違うユーザーでサインイン（またはログオン）したいときは、ユーザーを切り替えてください。

電源の状態を確認するには

電源の状態は Power  LEDの点灯状態で確認できます。

	状態	本製品の状態
Power  LED	白色の点灯	電源ON
	白色の点滅	スリープ中
	消灯	電源OFF、休止状態

* 電源に関するトラブルについては、『活用編』の「Q&A集」を参照してください。

5 バッテリーについて

1章

本製品の準備

本製品はバッテリーパック搭載モデル（バッテリーパックをお客様ご自身で交換できるモデル）です。バッテリーパックを取り付けた状態で使用してください。

初めて使用するときは、電源コードとACアダプターを接続してバッテリーパックを充電してからご使用ください。

バッテリーパックを充電すると、バッテリー駆動（電源コードとACアダプターを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめバッテリーパックの充電を完了（フル充電）させるか、フル充電したバッテリーパックを取り付けてください。

指定する方法・環境以外でバッテリーパックを使用した場合には、発熱、発火、破裂するなどの可能性があり、人身事故につながりかねない場合がありますので、十分ご注意ください。「安心してお使いいただくために」に、バッテリーパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

⚠ 危険

- バッテリーパックは、本製品に付属の製品を使用する

寿命などで交換する場合は、指定の当社製バッテリーを購入窓口でお買い求めください。

参照▶ 購入窓口について「2章 **4** サービス&サポートのご案内」

指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため発熱、発火、破裂のおそれがあります。

お願い バッテリーを使用するにあたって

- あらかじめ次の説明を確認してください。

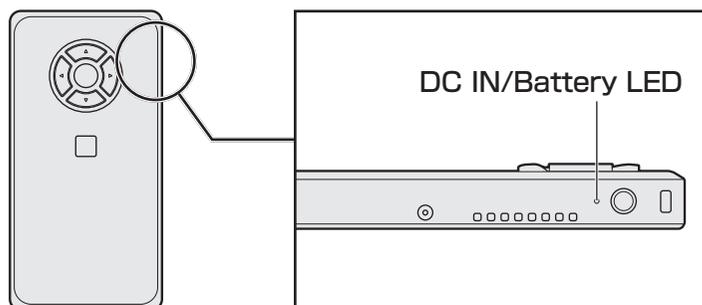
参照▶ 「2章 **5** - **4** バッテリーの使用／充電について」

1 バッテリー充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。

1 DC IN/Battery LEDで確認する

電源コードとACアダプターを接続している場合、DC IN/Battery LEDが点灯します。



DC IN/Battery LEDは次の状態を示しています。

白色の点灯	充電完了
オレンジ色の点灯	充電中
オレンジ色の点滅	充電が必要
白色の点滅	故障の可能性がある 再度電源スイッチを押してください。点滅が続く場合、故障の可能性があります。東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口にご連絡してください。
消灯	・電源コードとACアダプターを接続していない ・バッテリーを装着していない 上記のいずれにも当てはまらない場合は、バッテリー異常の可能性が あります。東芝PCあんしんサポート 使いかた相談窓口にご連絡してくだ さい。

メモ

- モデルによっては、ピークシフト期間中やeco充電モードで規定値以上充電されると、バッテリーへの充電は一時的に停止されます。

2 通知領域の [バッテリー] アイコンで確認する

通知領域の [バッテリー] アイコンの表示例は、次のとおりです。

Windows 10の場合	
Windows 7の場合	

通知領域の [バッテリー] アイコンの上にポインターを置くと、バッテリー充電量が表示されます。



(Windows 10の場合の表示例)

3 バッテリー充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリーの充電量が少なくなると、次のように警告します。

- DC IN/Battery LEDがオレンジ色に点滅する (バッテリーの残量が少ないことを示しています)

上記のような警告が起こった場合はただちに次のいずれかの方法で対処してください。

- 本製品に電源コードとACアダプターを接続し、充電する
- 電源を切ってから、フル充電のバッテリーパックと取り換える

バッテリー減少の警告が起こっても何も対処しなかった場合、本製品は自動的に休止状態になり、電源が切れます。

メモ

- 1ヵ月以上の長期にわたり、電源コードとACアダプターを接続したまま本製品を使用してバッテリー駆動を行わないと、バッテリー充電量が少しずつ減少します。このような状態でバッテリー充電量が減少したときは、DC IN/Battery LEDや [バッテリー] アイコンで充電量の減少が表示されないことがあります。1ヵ月に1度は、電源コードとACアダプターをはずしてバッテリー駆動で本製品を使用することを推奨します。
- 長時間使用しないでバッテリーが自然に放電しきってしまったときは、DC IN/Battery LEDでも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

2 バッテリーを充電する

お願い バッテリーを充電するにあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶ 「2章 5 - 4 - バッテリーを充電するにあたって」

1 充電方法

1 本製品にACアダプターを接続し、電源コードの電源プラグをコンセントに差し込む

DC IN/Battery LEDがオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。
電源のON/OFFにかかわらずフル充電になるまで充電されます。

2 DC IN/Battery LEDが白色になるまで充電する

バッテリーの充電中はDC IN/Battery LEDがオレンジ色に点灯します。
DC IN/Battery LEDが消灯している場合は、電源が供給されていません。電源コード、ACアダプターの接続を確認してください。

メモ

- 本製品を長時間で使用にならないときは、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 充電完了までの時間

バッテリー充電時間は、本製品の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。周囲の温度が低いとき、バッテリーパックの温度が高くなっているとき、周辺機器を取り付けているとき、アプリケーションを使用しているときは、充電完了まで時間がかかることがあります。

■ バッテリー駆動時間

バッテリー駆動時間は、本製品の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。

■ バッテリー駆動時の処理速度

高度な処理を要するソフトウェア（3Dグラフィックス使用など）を使用する場合は、十分な性能を発揮するために電源コードとACアダプターを接続してご使用ください。

■ 使っていないときの充電保持時間

本製品を使わないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減っていきます。バッテリーの保持時間は、放置環境などによって異なります。スリープを実行した場合、放電しきるまでの時間が非常に短いため、バッテリー駆動時は休止状態、またはハイブリッドスリープにすることをおすすめします。

参照 ▶ ハイブリッドスリープについて『活用編 2章 1 電源を入れる／切る』

2 バッテリーを長持ちさせる

本製品のバッテリーをより有効に使うための工夫を紹介します。

バッテリーの機能低下を遅くする方法

次の点に気をつけて使用すると、バッテリーの機能低下を遅くすることができます。

- 本製品を長時間使用しないときは、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 1ヵ月以上の長期間バッテリーを使わない場合は、本製品からバッテリーをはずして、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
- おもに電源コードとACアダプターを接続して本製品を使用し、バッテリーパックの電力をほとんど使用しないなど、100%の残量近辺で充放電をくり返すとバッテリーの機能低下を早める場合があります。
- 「ecoユーティリティ」で「eco充電モード」を有効にすると、バッテリー充電完了時の容量をフル充電より少なめにおさえて、バッテリーの機能低下を遅らせることができます。

参照▶『活用編 5章 アプリケーション』

- 1ヵ月に1度は、電源コードとACアダプターをはずしてバッテリー駆動で本製品を使用してください。

バッテリー消費をおさえる方法

バッテリーの消費をおさえて、本製品をバッテリー駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

- こまめに休止状態にする

参照▶『活用編 2章 1 電源を入れる／切る』

- 省電力の設定をする

参照▶『活用編 5章 アプリケーション』

3 バッテリーパックを保管する

バッテリーパックを保管するときは、次の説明をお読みください。

また、「安心してお使いいただくために」にも、バッテリーパックを保管するときの重要事項が記述されています。あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

- 充電状態のバッテリーパックを放置しておくともバッテリーが機能低下し、もう一度充電したときの容量が減少してしまいます。この機能低下は、保存温度が高いほど早く進みます。
- バッテリーパックの電極（金属部分）がショートしないように、金属製ネックレス、ヘアピンなどの金属類と混在しないようにしてください。
- 落下したり衝撃がかかったりしないよう安定した場所に保管してください。

3 バッテリーパックを交換する

バッテリーパックの取り付け／取りはずし的时候には、「スリープ」にするのではなく、必ず電源を切り、電源コードの電源プラグを抜いてから作業を行ってください。

1章

本製品の準備

1 取りはずし／取り付け

* 本マニュアルを「オンラインマニュアル」でご覧の場合は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

1 本製品に、USB Type-C™ アダプター、ディスプレイ、キーボード、マウスが接続されていることを確認する

2 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

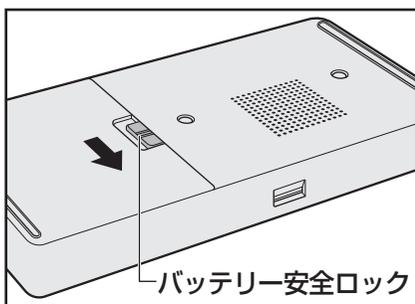
Windows 10の場合、**[SHIFT]**キーを押しながら**[シャットダウン]**をクリックしてください。

参照▶ 電源の切りかた「本章 **4** - **1** 電源を切る」

3 電源コード、ACアダプター、その他のケーブル類を本製品からははずす

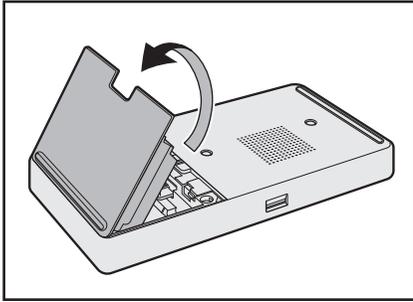
4 本製品を裏返す

5 バッテリー安全ロックを、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にスライドする

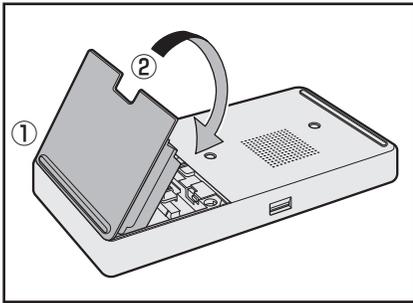


6 バッテリーパックを取りはずす

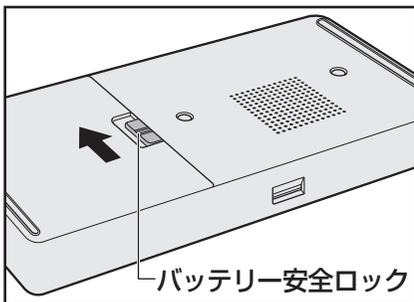
バッテリーパックを開けてください。

**7** 交換するバッテリーパックを取り付ける

新しいあるいは充電したバッテリーパックを合わせ①、静かに閉めてください②。

**8** バッテリー安全ロックを、「カチッ」と音がするまで矢印の方向（ロック側）にスライドする

バッテリーパックがはずれないように、バッテリー安全ロックは必ずロック側にスライドしてください。



STEP1 本書の「Q&A集」から探す

本書の「Q&A集」に同じトラブルのQ&Aがないか、確認してみてください。

STEP2 『オンラインマニュアル』から探す

『オンラインマニュアル』内の『活用編』でも、本書の「Q&A集」では紹介していない、さまざまなQ&Aについても説明しています。

『オンラインマニュアル』の起動方法は、次のとおりです。

Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [オンラインマニュアル] をクリックする
[このファイルを開く方法を選んでください。] 画面が表示された場合は、[Microsoft Edge] を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。

Windows 7の場合

- ① デスクトップ画面で [オンラインマニュアル] アイコン () をダブルクリックする

STEP3 サポートのサイトで調べる * インターネットに接続している場合

- 東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」 (<http://dynabook.com/>)
「dynabook.com」では、お問い合わせの多い質問や最新のQ&Aが掲載されています。

STEP4 それでもトラブルが解決しない場合は問い合わせる

- 本体のトラブルの場合
東芝PCあんしんサポートにご連絡ください。
- OSやアプリケーションのトラブルの場合
OSや各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。
参照▶ お問い合わせ先『活用編 付録 1 お問い合わせ先』
- 周辺機器のトラブルの場合
参照▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

ここに掲載しているQ&A集のほかに、『活用編 7章 本製品の動作がおかしいときは』にもQ&A集があります。目的の項目が見つからないときは、『活用編』も参照してください。

1 電源

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、Power LEDが点灯しない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。

確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう。または電源が入らない

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電する（他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません）
- 充電済みのバッテリーパックと取り換える

参照 ▶ バッテリーについて「1章 本製品の準備」

A 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

本製品が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるまで待ってください。

また、本製品に通風孔がある場合は、通風孔をふさぐと、本製品の温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔をふさがないでください。

A 本製品からいったん、電源コードとACアダプター、バッテリーパックをすべて取りはずしてください。

- ① 電源コードとACアダプターを取りはずす
本製品に接続している周辺機器も取りはずしてください。
- ② バッテリーパックを取りはずす
電源コードとACアダプター、バッテリーパックを取りはずし、そのままの状態、しばらく放置してください。
- ③ バッテリーパックを取り付ける
- ④ 電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
- ⑤ 電源スイッチを押し、指をはなす
確実に電源スイッチを押してください。電源が入るとPower LEDが点灯します。

参照 ▶ 電源コードとACアダプターの接続「1章 本製品の準備」

参照 ▶ バッテリーパックの取り付け／取りはずしについて「1章 本製品の準備」

- ⑥ それでも電源が入らない場合は、電源スイッチをさらに1回押す
電源が入るとPower LEDが点灯します。
- ⑦ 10秒程度待って、なにも反応しない場合は、さらに1回電源スイッチを押す
電源が入るとPower LEDが点灯します。
- ⑧ それでも電源が入らない場合は、電源スイッチを12秒ほど長押しして、指をはなす

⑨再度電源スイッチを押す
電源が入るとPower LEDが点灯します。

⑤～⑨の操作を行うと、内蔵時計がリセットされる場合があります。再度日付と時刻を設定してください。

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口ご連絡してください。

2章

困ったときは

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをSSD以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

システムが入っている記録メディアと取り換えるか、またはドライブから記録メディアを取り出してから、何かキーを押してください。

それでも正常に起動しない場合は、次のように操作してください。

また、ファンクションキーが搭載されたキーボードをご用意ください。

*ただし、すべてのキーボードでの動作を保証するものではありません。

- ① 電源スイッチを5秒以上押して電源を切る
- ② 電源スイッチを押し、すぐに **[F12]** キーを数回押す
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **[ENTER]** キーを押してください。
- ③ 表示されたメニューからシステムの入っているドライブ（通常はハードディスクを示す項目）を **[↑]** **[↓]** キーで選択し、**[ENTER]** キーを押す

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電する（他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません）
- 充電済みのバッテリーパックと取り換える

参照 ▶ 「1章 本製品の準備」

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LEDが点灯している場合、省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくマウス、キーボードなどを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

[SHIFT] キーを押すか、マウスなどを動かすと表示が復帰します。

テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A Power LEDが点滅しているか、消灯の場合、自動的にスリープまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間本製品を使用しないときに、自動的にスリープまたは休止状態にするように設定されています。

復帰させるには、電源スイッチを押してください。

2 画面／表示

Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった

A 電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本節 3 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくマウス、キーボードなどを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

[SHIFT]キーを押すか、マウスなどを動かすと表示が復帰します。

テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

3 システム／SSD

Q 本製品が応答しなくなった

A アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、本製品を再起動してください。

参照▶ 再起動『活用編 2章 本製品の基本操作を覚えよう』

マウスなどで操作できない場合は、次の手順でキーボードを操作して再起動してください。

- ① [CTRL] + [ALT] + [DEL]キーを押す
- ② 「シャットダウン」のオプションメニューを表示させる

■ Windows 10の場合

1. [TAB]キーを数回押して画面右下の「シャットダウン」(⏻)を選択し、[ENTER]キーを押す

■ Windows 7の場合

1. [TAB]キーを数回押して、画面右下の①の右にある「シャットダウンのオプション」(⏻)を選択し、[ENTER]キーを押す

- ③ 表示されたメニューから、[↑] [↓]キーを押して「再起動」を選択し、[ENTER]キーを押す再起動します。

A Windows 起動時に問題が起きた場合や、本製品を再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A システムが処理中の可能性があります。

システム処理中は、操作を受け付けられない場合があります。操作によっては、システム処理中はポインターが輪の形(○)になっています。システムの処理が終わるまで待つてから操作してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照▶『アプリケーションのヘルプ』

A 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションを本製品にインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照▶ 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属している説明書』

4 メッセージ

Q 起動時に下記のメッセージが表示され、Windowsが起動しない

- **** Date and Time reset to default ****

Press any button to set the date/time in the OS.

A 時計用バッテリーが不足しています。

このバッテリーが不足すると、メッセージが表示されます。

アップボタン、ダウンボタン、レフトボタン、ライトボタン、センターボタンのうち、いずれかのボタンを押してWindowsを起動し、次の手順で日時を設定し直してください。

■ Windows 10の場合

- ① 通知領域の日付・時刻表示を右クリックする
- ② [日付と時刻の調整] をクリックする
- ③ [日付と時刻] をクリックする
- ④ [時刻を自動的に設定する] がONの場合はOFFにする
- ⑤ [日付と時刻を変更する] の [変更] をクリックする
- ⑥ 日付と時刻を修正して [変更] をクリックする
- ⑦ [時刻を自動的に設定する] をONに戻す

■ Windows 7の場合

- ① 通知領域の日付・時刻表示をクリックする
- ② [日付と時刻の設定の変更] をクリックする
[日付と時刻] 画面が表示されます。
- ③ [日付と時刻] タブで [日付と時刻の変更] ボタンをクリックする
- ④ 日付と時刻を修正する
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする
- ⑥ [OK] ボタンをクリックする

設定しても内蔵時計が合わなくなる場合は、時計用バッテリーの機能が低下している可能性があります。

東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口にご相談してください。

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された**A** 日付と時刻を設定してください。

Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照▶ 日付と時刻の設定について『活用編』の「Q&A集」

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「No bootable device - Please restart system」

A CD/DVDや、USBフラッシュメモリなどの起動ディスクを取り出し、再起動してください。

上記の操作を行っても解決しない場合は、東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口にご連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された**A** 『使用しているシステムやアプリケーションに付属している説明書』を確認してください。**5 その他****Q SSDから本製品を初期状態に戻せなくなったときは****A** SSDに搭載されている初期状態に戻すためのツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、本製品を初期状態に戻せなくなることがあります。

「東芝リカバリーメディアクリエーター（TOSHIBA Recovery Media Creator）」で作成したリカバリーメディアを使って、リカバリーしてください。

参照▶ リカバリーの操作方法『活用編 8章 本製品を再セットアップするには』

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口にご相談してください。

参照▶ 修理のお問い合わせについて「本章 **4** サービス&サポートのご案内」

Q 操作できない原因がどうしてもわからない**A** 「トラブルを解消するまでの流れ」のSTEP2へ進んでください。

本書の「トラブルを解消するまでの流れ」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照▶ 「本章 **1** 困ったときは」

A 本製品のトラブルの場合は、東芝PCあんしんサポートにご連絡してください。**A** OSやアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ OSやアプリケーションのお問い合わせ先『活用編 付録 **1** お問い合わせ先』

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属している説明書』

本製品を捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除したり、SSDの内容を消去してください。

指紋センサー搭載モデルの場合は、登録した指紋データを消去することをおすすめします。

1 お客様登録の削除について

● ホームページから削除する

東芝ID (TID) をお持ちの場合はこちらからお願いします。

① インターネットで「<http://toshibadirect.jp/room1048/>」へ接続する

② ページ右の [ログイン] をクリックする

[ログイン] 画面が表示されます。

③ 東芝ID (TID) またはメールアドレスと、パスワードを入力し、[ログインする] ボタンをクリックする

マイページが表示されます。

※ システムの仕様上、ご登録メールアドレスにてログインできない場合があります。

その場合は、お手数ですが、東芝ID (TID) でログインしてください。

④ ページ右下の [退会] をクリックする

⑤ 東芝ID (TID) またはメールアドレスとパスワードを入力し、[退会する] をクリックする

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※ Room1048を退会されると、「東芝ダイレクト」での購入履歴やRoom1048会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● 電話で削除する

「東芝ID事務局 (お客様情報変更)」までご連絡ください。

● 東芝ID事務局 (お客様情報変更)

TEL : 0570-09-1048 (ナビダイヤル)

受付時間 : 10:00~17:00 (土・日、祝日、当社特別休日を除く)

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。技術的なご相談や修理に関するお問い合わせ、またリサイクルに関しては「本章

4 サービス&サポートのご案内」を確認してください。

2 SSDの内容をすべて消去する

本製品上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、本製品を廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、SSDに保存されている、データやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

Windows 10の操作手順

* 本マニュアルを「オンラインマニュアル」でご覧の場合は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

SSDの内容を削除するには、SSDの消去機能、または作成したリカバリーメディア、または付属のリカバリーDVD-ROM(付属しているモデルのみ)を使用します。

お願い 本製品を譲渡する場合には

- SSDの内容を削除すると、SSD内のデータと共に初期状態に戻す機能も消去されます。再びシステム(OS)やアプリケーションを使用したい場合は、あらかじめリカバリーメディアを作成しておいてください。

参照 リカバリーメディアの作成『活用編 1章 3 リカバリーメディアを作る』

SSDの消去機能から行う方法

① データを保存し、**[SHIFT]** キーを押しながら **[シャットダウン]** をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「1章 4-1 電源を切る」

② 電源コードとACアダプターを接続する

③ 電源スイッチを押し、すぐに **[0]** (ゼロ) キー (かな入力の **[わ]** キー) を数回押す

* テンキーを搭載したキーボードの場合でも、テンキーの **[0]** (ゼロ) キーからは実行できません。

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **[ENTER]** キーを押してください。

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順④に進んでください。

「オプションの選択」画面が表示された場合は、手順⑤に進んでください。

④ **[Yes]** (「YES」) または **[はい]** を選択して、**[ENTER]** キーを押す

「オプションの選択」画面が表示されます。

⑤ **[トラブルシューティング]** をクリックする

「トラブルシューティング」画面が表示されます。

⑥ **[TOSHIBA Maintenance Utility]** をクリックする

ツールの選択画面が表示されます。

- ⑦ **【ハードディスク上の全データの消去】** をチェックし、**【次へ】** ボタンをクリックする
消去方法を選択する画面が表示された場合は、手順⑧に進んでください。
[データの消去を開始します。] 画面が表示された場合は、手順⑨に進んでください。
- ⑧ **【標準データの消去】** をチェックし、**【次へ】** ボタンをクリックする
モデルによっては**【機密データの消去】** 項目も表示されますが、通常は**【標準データの消去】** を選択してください。**【機密データの消去】** は、より確実にデータを消去できますが、より時間がかかります。

[データの消去を開始します。] 画面が表示されます。
処理を中止する場合は、**【キャンセル】** ボタンをクリックしてください。
- ⑨ **【次へ】** ボタンをクリックする
消去が実行されます。画面は、処理の経過に従い切り替わります。
消去が完了すると、終了画面が表示されます。
- ⑩ **【終了】** ボタンをクリックする

■ リカバリーメディアから行う方法

リカバリーDVD-ROMが付属していない場合、リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照▶ リカバリーメディアの作成『活用編 1章 3 リカバリーメディアを作る』

あらかじめ、次の準備を行ってください。

- USBフラッシュメモリまたは外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用してリカバリーする場合は、あらかじめUSBハブ（市販品）を、本製品のUSBコネクタに接続してください（USBハブは、USB Type-C™ アダプターのUSBコネクタには接続しないでください）。

参照▶ 接続方法『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

* ただし、すべてのUSBハブまたは外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

- ファンクションキーが搭載されたキーボードを用意してください。

* ただし、すべてのキーボードの動作を保証するものではありません。

① 電源コードとACアダプターを接続する

② リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。

参照▶ 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブの使用方法
『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

③ データを保存し、**【SHIFT】** キーを押しながら**【シャットダウン】** をクリックして電源を切る

参照▶ 電源の切りかた「1章 4 - 1 電源を切る」

④ 電源スイッチを押し、すぐに**【F12】** キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して**【ENTER】** キーを押してください。

⑤ **↑** または **↓** キーで起動ドライブを選択する

リカバリーメディアがDVD／ブルーレイディスクの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（[USB ODD] など）、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（[USB Memory] など）を選択し、**ENTER** キーを押してください。

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

⑥ **[TOSHIBA Recovery Wizard]** をチェックし、**[次へ]** ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑦ **画面の内容を確認し、[はい]** ボタンをクリックする

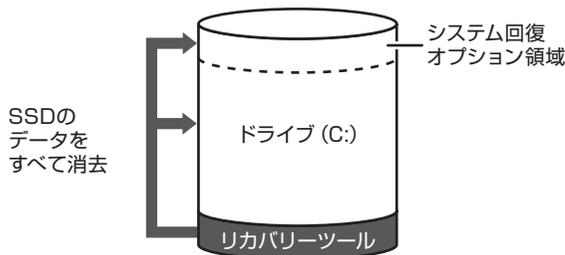
以降は、本節の「**SSDの消去機能から行う方法**」の手順⑦以降を参照してください。

Windows 7の操作手順

* 本マニュアルを「オンラインマニュアル」でご覧の場合は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

SSDの内容を削除するには、SSDのリカバリーツール、または作成したリカバリーメディアを使用します。

SSDのリカバリーツールを使用すると、SSD内のデータはすべて消去されますが、リカバリーツールは残ります。



作成したリカバリーメディアを使用すると、SSD内のデータと共にリカバリーツールも消去されます。

■SSDのリカバリーツールから行う方法

- ① データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

参照 電源の切りかた「1章 4 - ① 電源を切る」

- ② 電源コードとACアダプターを接続する

- ③ 電源スイッチを押し、すぐにキーボードの **0** (ゼロ) キー (かな入力の **わ** キー) を数回押す

* テンキーを搭載したキーボードの場合でも、テンキーの **0** (ゼロ) キーからは実行できません。

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **ENTER** キーを押してください。

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順④に進んでください。

OSのタイプを選択する画面が表示された場合は、手順⑤に進んでください。

警告メッセージ画面が表示された場合は、手順⑥に進んでください。

- ④ **Yes** (「YES」) または **はい** を選択して、**ENTER** キーを押す

OSのタイプを選択する画面が表示された場合は、手順⑤に進んでください。

警告メッセージ画面が表示された場合は、手順⑥に進んでください。

- ⑤ **次へ** ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

- ⑥ 画面の内容を確認し、**はい** ボタンをクリックする

「復元方法の選択」画面が表示されます。

- ⑦ **ハードディスク上の全データの消去** をチェックし、**次へ** ボタンをクリックする

消去方法を選択する画面が表示されます。

- ⑧ **標準データの消去** をチェックし、**次へ** ボタンをクリックする

モデルによっては「機密データの消去」項目も表示されますが、通常は「標準データの消去」を選択してください。「機密データの消去」は、より確実にデータを消去できますが、より時間がかかります。

「データの消去を開始します。」画面が表示されます。

処理を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

- ⑨ **次へ** ボタンをクリックする

消去が実行されます。

消去が完了すると、終了画面が表示されます。

- ⑩ **終了** ボタンをクリックする

■作成したリカバリーメディアから行う方法

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照▶ リカバリーメディアの作成『活用編 1章 3 リカバリーメディアを作る』

- USB フラッシュメモリまたは外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用して、リカバリーメディアで消去を行う場合は、あらかじめUSBハブ（市販品）を、本製品のUSBコネクタに接続してください（USBハブは、USB Type-C™ アダプターのUSBコネクタには接続しないでください）。

参照▶ 接続方法『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

- * ただし、すべてのUSBハブまたは外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。
- ファンクションキーが搭載されたキーボードを用意してください。
 - * ただし、すべてのキーボードの動作を保証するものではありません。

①電源コードとACアダプターを接続する

②リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

③データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

参照▶ 電源の切りかた「1章 4 - 1 電源を切る」

④電源スイッチを押し、すぐに[F12]キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して[ENTER]キーを押してください。

⑤↑または↓キーで起動ドライブを選択する

リカバリーメディアがDVDの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（[USB ODD] など）、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（[USB Memory] など）を選択し、[ENTER]キーを押してください。

■「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示された場合

[TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックしてください。

■OSのタイプを選択する画面が表示された場合

[次へ] ボタンをクリックしてください。

警告メッセージ画面が表示されたら、以降は、前項の「■SSDのリカバリーツールから行う方法」の手順⑥以降を参照してください。

4

サービス&サポートのご案内

東芝PCサポートページ <http://dynabook.com/assistpc/pg>

* 2017年10月現在の内容です。最新情報はホームページをご覧ください。

当社のサポート窓口は、問い合わせたい内容や手段によって分かれています。次の表で相談内容や手段を選び、各問い合わせ先を示すマークを確認してから、以降のページで各問い合わせ先の説明をお読みください。

2章

困ったときは

困ったときのご相談	手段					
	電話	メール	Web	訪問	対面	携帯用Web
使いかたや操作方法がわからない	使いかた相談	PCオンライン	FAQ	訪問サポート		
夜間（18:00～24:00）に電話サポートを利用したい			サポート予約			
時間にとらわれず好きな時間に相談したい（24時間）		PCオンライン	FAQ			
遠隔支援サービスを利用した電話サポートを受けたい	遠隔支援サービス		サポート予約			
故障かどうか調べたい	修理		FAQ		PC工房	
インターネットで修理の申し込みをしたい			PC i-repair			PC i-repair
インターネットで修理状況を確認したい						
海外から修理を依頼したい						
使いかたやトラブルの解決方法を自分で調べたい			FAQ			
自宅に来てトラブルを解決してほしい				訪問サポート		
本製品の調子が悪いので、本製品を預けて点検してほしい	点検		点検			
ウイルスに感染していないか確認・点検してほしい				訪問サポート		
本製品の中からデータを救出してほしい	データ復旧				PC工房	
対面窓口で修理の相談をしたい（本製品持ち込み）						
短期間で修理してほしい						
本製品の設定を代わりにしてほしい	有料サポート		有料サポート	訪問サポート		
マンツーマンでレッスンを受けたい						

困ったときのご相談	手段					
	電話	メール	Web	訪問	対面	携帯用Web
付属品の購入・サービスお申し込みのご相談						
お客様登録をしたい						
取扱説明書を購入したい						
電源コードを購入したい						
ACアダプターを購入したい						
メモリを購入したい* ¹						
バッテリーパック搭載モデルの場合、 バッテリーパックを購入したい* ²						
バッテリーパック内蔵モデルの場合、 バッテリーパックの交換を依頼したい* ²						
保証期間を延長したい						
使用済み本製品の回収・リサイクルのご相談						
不要になった本製品を廃棄したい（個人）						
不要になった本製品を廃棄したい（企業）						

* 1 モデルによっては、メモリの交換・増設そのものができなかつたり、メモリの交換・増設を依頼する必要がある場合があります。

参照▶ 「1章 2 - 2 背面図」の「お願い」

* 2 充電機能が低下した場合の対処方法は、モデルによって異なります。
ご使用のモデルについては、『***をお使いのかたへ』を確認してください。

* 3 個人向けと企業向けでは、バッテリーパック交換の申し込み先が異なります。

■ お電話でのスムーズな問い合わせのコツ

- ご使用のPCの型番をご確認ください。型番は、製品に付属の保証書、画面上、または本体底面／背面などの表示でご確認いただけます。
画面上では、次の方法で確認できます。
Windows 10の場合：
① [スタート] ボタン () をクリック→② [東芝PCシステム情報] をクリックする。
Windows 7の場合：
① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [サポート&リカバリー] → [PC診断ツール] をクリック→② [基本情報] タブをクリックする。
- どのような症状が起きましたか？ エラーメッセージなどは表示されましたか？
- その症状はどのような操作をしたあと、発生するようになりましたか？
- 修理相談の場合は保証期間（保証書記載）をご確認ください。
- 事前にお客様登録  (<http://dynabook.com/assistpc/pg/room1048>) をおすすめします。

■各問い合わせ先について *電話・FAX番号のお間違いにご注意ください。

使いかた相談 東芝PCあんしんサポート 使いかた相談窓口

使いかた、技術的な相談などの電話によるお問い合わせ窓口です。

1. お問い合わせの前に、お買い上げの製品を東芝ID (TID) にご登録ください。
使いかた相談窓口のご利用には、東芝ID (TID) へのご登録 (お客様登録) が必要です。

参照▶ 東芝ID (TID) への登録方法『活用編 付録 3 お客様登録の手続き』

2. ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。
ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。
 - ・ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
 - ・ご購入日から5年経過後のサポート料金：1件あたり 2,000円 (税抜き、予定価格)
1件はお電話での回数ではなく、1つのご質問内容を1件といたします。1回のお電話の中に複数ご質問が含まれる場合、ご質問内容ごとに料金がかかります。
お電話をいただいた際には、まずご質問の概要を確認後、必ず料金を事前に提示させていただきお客様のご同意をいただいた上でサービスを提供させていただきます。
なお、詳細は、有料サポート開始前に、ホームページ上でご案内いたします。
3. お電話いただく際、「発信者番号通知」をお願いいたします。

[固定電話から] 0120-97-1048 (通話料無料)

[携帯電話から] 0570-66-6773 (通話料お客様負担)

海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780 (通話料お客様負担)

受付時間：9:00-19:00 (年中無休)

サポート予約 東芝PC電話サポート予約サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/cb.htm>

お客様がホームページからご予約された時間帯 (18:00~24:00) に、東芝PCあんしんサポート担当者からお電話を差し上げて質問にお答えするサービスです。

1. サービスのご利用前 (予約前) に、お買い上げの製品を東芝ID (TID) にご登録ください。
東芝PC電話サポート予約サービスのご利用には、東芝ID (TID) へのご登録 (お客様登録) が必要です。

参照▶ 東芝ID (TID) への登録方法『活用編 付録 3 お客様登録の手続き』

2. ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。
ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。
 - ・ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
 - ・ご購入日から5年経過後のサポート料金：1件あたり 2,000円 (税抜き、予定価格)なお、本サービスは時間枠の都合上、ご予約1件につきご質問内容は1件とさせていただきます。
詳細は、有料サポート開始前に、ホームページ上でご案内いたします。

**遠隔支援サービス**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rm.htm>

東芝PC電話サポートのスタッフがインターネット経由で、あなたのPC画面を確認しながら操作のお手伝いやトラブルを解決するサービスです。

修理**東芝PC集中修理センタ（東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口）**

故障診断や修理受付の電話相談窓口です。

[固定電話から] 0120-97-1048（通話料無料）

[携帯電話から] 0570-66-6773（通話料お客様負担）

海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780（通話料お客様負担）

受付時間：9:00-19:00（休業日：12/31～1/3）

**東芝PC集中修理センタ**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rc.htm>

個人・家庭向け国内仕様本製品の修理相談サービスです。

自己診断Q&A 本間に故障かわからないとき

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rsc.htm>

インターネットからの修理のお申し込み

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rir.htm>

修理状況の確認（携帯からアクセス可能）

<http://pcrepair.jp>



修理申込後も携帯サイトや電話申込でサービスのご利用が可能です。左記のQRコードで携帯サイトにアクセスできます。

* 携帯サイトからの修理のお申し込みは取り扱っておりません。

■ 企業のお客様の本製品（国内仕様）修理依頼は**当社修理・サポートダイヤル**

<http://dynabook.com/pc/business/service/support/repair/>

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルがご利用できない場合は 03-5144-3816（有料）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）



ILWサポートセンタ（海外保証・制限付）

<http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

ILW（International Limited Warranty）は、日本国内で購入された対象PCが、保証期間中に海外で故障した場合に、修理サービスを提供するものです。本サービスは、保証書にILWマークがついた製品が対象です。保証期間を過ぎた本製品については、有料修理サービスがございます。

ホームページからの修理申し込み：<http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

電話番号：海外から 81-43-303-1062／国内から 043-303-1062（通話料お客様負担）

FAX：海外から 81-43-303-1068／国内から 043-303-1068（通話料お客様負担）

受付時間（日本時間）：10:00～19:00（土・日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

※サービスの形態・制限事項・注意事項やILW対象地域の詳細などはホームページでご確認ください。

ILW対象地域

（中国は、現地修理サービス。その他地域は、日本への引き取り修理サービス）

カナダ、アメリカ、アイスランド、アイルランド、イギリス、イタリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、アラブ首長国連邦、韓国、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、中国、台湾、香港 ※準州などを除く

PC工房

東芝PC工房

お持ち込みでの直接診断や修理のご依頼、保証期間の延長のお申し込みはこちらへ。

また、ご予約いただき1日で修理を行うサービス「1Day・プレミアム・リペア・サービス」もこちらへ。

※修理は国内モデルのみ受け付けます。

※故障内容によっては、対応できない場合があります。

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pk.htm>

電話番号：03-3252-6274（通話料お客様負担）

電話受付：10:00～12:00 13:00～18:30（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-7-7 ソフト99ビル2F

営業時間：10:00～18:30

購入
窓口

電源コードやACアダプターなどの付属品の購入、取扱説明書の購入窓口

<http://dynabook.com/assistpc/pg/ac.htm>

取扱
説明書

東芝PC本体に同梱している説明書（マニュアル）の一部を別売りしております。

<http://dynabook.com/assistpc/pg/mn.htm>

FAQ

「dynabook.com」で公開しているよくあるご質問と回答

<http://dynabook.com/assistpc/pg/faq.htm>

PC
オンライン

Web（インターネット）を使ってご相談

<http://dynabook.com/assistpc/pg/web.htm>

サービスのご利用前に、お買い上げの製品を東芝ID（TID）にご登録ください。

参照 東芝ID（TID）への登録方法『活用編 付録 3 お客様登録の手続き』

リサイクル
企業**PCリサイクルのご相談（企業） 東芝IT機器リサイクルセンター**

電話番号：045-506-3211

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：045-506-3213（24時間受付）

●事業系（企業・法人）の使用済みパソコン 回収・リサイクルのホームページ

<http://dynabook.com/assistpc/pg/reb.htm>

点検

東芝PCあんしん点検（有料）の申し込み<http://dynabook.com/assistpc/pg/at.htm>

PC全体の機能点検に加え、日常お手入れできないPC内部の清掃やウイルスに感染していないか点検を行います。

有料
サポート**有料のPC遠隔レッスンサービス／PC遠隔代行サービス／東芝PC延長保証サービス**<http://dynabook.com/assistpc/pg/pay.htm>

・PC遠隔レッスンサービス

個別指導で気軽にレッスン！年賀状、招待状作成のお手伝いをさせていただきます。

・PC遠隔代行サービス

周辺機器を買ったけど接続設定が面倒！信頼の技術力で、おうちにいながら遠隔設定いたします。

・東芝PC延長保証サービス

データ
復旧**データ復旧サービス（有料）のご案内**<http://dynabook.com/assistpc/pg/rdata.htm>

突然起きるハードディスク故障や、操作ミスによるデータ消失などのトラブルから大切なデータを復旧いたします。※お客様に著作権のないデータはサービス対象外となります。

データ復旧サービス

論理障害・軽度の物理障害の際、読み取り可能なフォルダーをDVD-RやUSBメモリなどにバックアップいたします。

※データ量が4.7GB以下の場合はDVD-Rに、4.7GB以上32GB以下の場合はUSBメモリに、32GB以上の場合はUSB接続型の外付けハードディスクドライブに格納いたします。

【個人のお客様】

電話番号：03-3252-7081（通話料お客様負担）

受付時間：10:00～12:00、13:00～18:30（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

【企業のお客様】

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルがご利用できない場合は03-5144-3816（有料）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

訪問
サポート

東芝PC訪問サポート（有料）*個人のお客様向け

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pcs.htm>

訪問スタッフがお客様先までおうかがいして、本製品の接続設定やアプリケーションの設定を行います。

日本PCサービス株式会社

電話番号：0120-1048-49／受付時間：9:00～21:00（年中無休）

キューアンドエー株式会社

電話番号：0120-577876／受付時間：10:00～19:00（年中無休）

バッテリー
パック交換

バッテリーパックの交換（バッテリーパック内蔵モデルのみ）

充電機能が低下した場合は、バッテリーパックの交換を依頼してください。

バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

●バッテリーパック交換（個人）

東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口にご連絡ください。

●バッテリーパック交換（企業）

営業担当にご連絡ください。

ILW制限事項・注意事項 (2017年10現在)

最新版はホームページに記載しております。

<http://dynabook.com/assistpc/ilw/ilw3.htm>

■制限事項

- 対象地域により、サービス形態（日本への引き取り修理サービスまたは現地修理サービス）が異なります。
- 本製品は日本国内モデルであり、世界各地で販売されている海外モデルとは仕様に相違があるため、海外現地の株式会社東芝の関連会社ではお取り扱いしておりません。
- 対象地域はILW対象地域をご覧ください。記載地域以外は、ILW対象外です。対象地域は各地域の通関事情などにより、事前の告知なく変更となる場合があります。
- 現地では日本語でのご対応はできません。その現地の言語での対応となります。
- ILWは、本体の修理に限ります。オプション機器、周辺機器、消耗品（バッテリーパック等）、付属品（電源コード等）、リカバリメディア、サービス部品、操作説明書等の提供および販売は、ILW対象外です。
- ソフトウェアおよび技術サポートのご相談は受け付けておりません。ご相談の場合は、東芝PCあんしんサポート（海外からおかけになる場合は、81-43-298-8780）「使い方・設定など技術的な相談窓口」へご連絡ください。通信費はお客様負担となります。
- プレインストールソフトウェアのリカバリサービスは保証期間内でも有料扱いとなります。リカバリサービスをお申込みの場合、本製品の往復輸送費とリカバリサービス代金はお客様負担となります。
- 海外でご使用になれない機能（TVの視聴・録画に関する機能、広域無線通信 [ワイヤレスWAN] 機能など）は、ILW対象外となります。
- お持ちの機種、修理部品、対応地域によっては、各地域の通関事情等により、修理完了までに時間がかかる場合があります。
また、ILW対象地域の一部地域では、法律により、輸出入が規制されている部品・役務等があります。規制に該当する場合は、ILW対象外となります。
- 各地域の通関事情により、現地通関事務局から指定された書類を求められる場合があります。その場合は、お客様ご自身による対応が必要となります。
- 中国での現地修理サービスでは、修理製品のピックアップサービスや出張サービスは行っておりません。お客様自身による現地修理会社へのお持ち込み、又は各輸送会社拠点へのお持ち込みとなります。
- お客様の過失により機器が故障した場合、火災・自然災害（落雷/水害等）により故障した場合等は、ILW対象外です。日本国内で有効な「保証書」に記載の無料修理規定に則り、有料修理となります。
- ILW対象外の修理については、地域によっては有料で、日本への引き取り修理サービスまたは現地修理サービスをご利用いただけます。詳細はILW対象地域をご覧ください。有料修理の場合、本製品の往復輸送費等はお客様のご負担となります。
なお、有料修理は、保守部品（補修用性能部品）の保有期間内のILW対象機種とさせていただきます。
- ILW対象地域域外の場合、日本国内での修理となります。その場合は、お客様ご自身で輸入手続きの上、日本国内のご家族または知人を介して、東芝PCあんしんサポート（0120-97-1048 ※海外からおかけになる場合は、81-43-298-8780）「修理に関するご相談窓口」へ修理依頼をお願いします。修理完了後の返却は、日本国内のみとさせていただきます。通信費はお客様負担となります。
- 記憶装置に記憶された内容は、故障や障害およびその他の原因にかかわらず、その損失損害については、いっさいその責任を負いません。修理をご依頼される際は、お客様ご自身で事前にデータのバックアップを行ってください。本製品をお預かりした時点で、データは全てバックアップされたものと判断させていただきます。記憶装置が故障した場合等、インストールされているソフトウェアやお客様のデータは、消去されます。また、近年、盗難が多発しておりますので、本製品を輸送する際は、発送する前にハードウェアパスワード等により、セキュリティの強化をしてください。輸送の際の盗難等にもなう本製品内のデータ等に関する責任は、当社ではいっさい、負うことはできませんので、ご注意ください。

■注意事項

- ILWは当社製品の海外への輸出や持ち出しを保証するものではありません。海外へ輸出や持ち出しをする場合、「外国為替及び外国貿易法」や米国輸出規制を遵守する必要がありますので、ご注意願います。輸出国（お持ち込みになる国）によっては、米国輸出規制に従った輸出許可が必要です。このような場合は、お客様の責任に基づき、お客様自身で所定の手続きをしてください。手続きについては、税関等へお問い合わせください。
- 当社製品は、世界各国の規格を取得していないことから、お持ち込みのできない場合があります。製品の持ち出しおよびお持ち込みは、お客様の責任で行ってください。
- 地域によっては、本製品使用時、周辺の環境（他電子機器から出される電波、お使いのコンセント電圧、インフラ設備等）の影響を受ける場合があります。
- 電源コードは国内専用です。海外で本製品を使用するときは、使用する国や地域の安全規格等に適合したケーブルを当該国でお買い求めになるなどして、お使いください。

本書で説明している機能のご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。搭載されている機能やアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

1 本体について

スイッチ／ボタンの操作にあたって

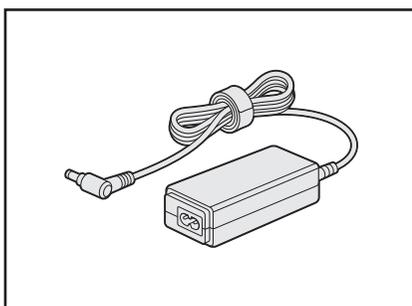
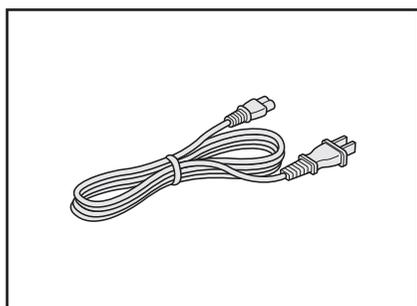
- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

機器への強い衝撃や外圧について

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- 本製品の表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ「安心してお使いいただくために」に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。



電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより異なります。

3 周辺機器について

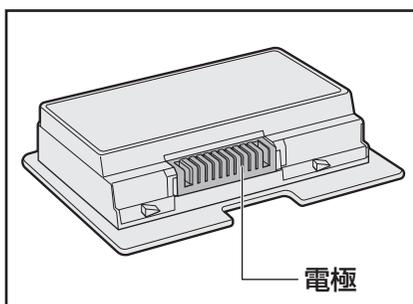
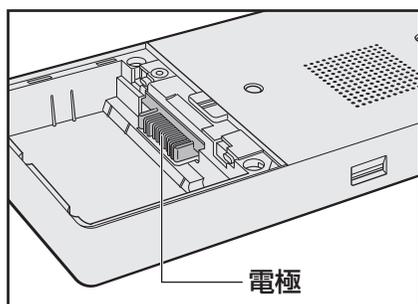
本製品への機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は機器によって違います。次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
 - ・ ホットインサーションに対応していない機器を接続する場合は、必ず本製品の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサーションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
 - ・ 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
 - ・ ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
 - ・ 極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
 - ・ 静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
 - ・ 本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
 - ・ 本製品のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
 - ・ 本製品のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

4 バッテリーの使用／充電について

バッテリーを使用するにあたって

- バッテリーパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードの電源プラグをコンセントからはずし、電源コネクタからACアダプターのプラグを抜いてから作業を行ってください。スリープを実行している場合は、バッテリーパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- 電極に手を触れないでください。故障の原因になります。



- バッテリーパックを本製品に取り付けたときは、バッテリー安全ロックがロック側になっていることを必ず確認してください。ロック側になっていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれて落ちるおそれがあります。

参照 詳細について「1章 5 - 3 バッテリーパックを交換する」

5 ご使用にあたってのお願い

- バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。バッテリーを使いきってしまうと、スリープが効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。バッテリーを使い切る前に、電源コードとACアダプターを接続してバッテリーを充電してください。

バッテリーを充電するにあたって

- バッテリーパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。バッテリーは5～35℃の室温で充電してください。

一般社団法人 電子情報技術産業協会の「ノートパソコンやタブレットのバッテリーに関する基礎知識」について

<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14>

5 技術基準適合について

- 瞬時電圧低下について

この装置は、一般社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

以下の項目のうち、ご購入のモデルの対象となる項目は、『活用編 付録 9 技術基準適合について』に記載されています。

- 電波障害自主規制について
- 「FCC information」について
- EU Declaration of Conformityについて